

新たな息吹 SINCE2007



# さわの里だより

横浜市立さわの里小学校 学校だより

URL <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/sawanosato>E-mail [y3sawano@edu.city.yokohama.jp](mailto:y3sawano@edu.city.yokohama.jp)

10月号

## 「つながる」って 楽しいな

副校長 高橋 佐紀子

「ゆいちゃん、またね。」

1年生の子ども達が、保育園の友だちが帰る時に、名前を呼んでお別れをしていました。

「名前を覚えたんだね。」と聞くと、「うん。」と笑顔で答えていました。楽しい時間を過ごしたことが伝わりました。

昨年度に引き続き、横浜市芸術文化教育プラットフォーム「学校プログラム～アーティストが学校へ～」企画に申し込みました。今年度は「メリーゴーランド研究所」の方々に、美術・造形体験活動を通して、幼保小の園児・児童が交流する計画を立てていただきました。2回の交流活動では「わくわくする活動を通して、人と交流する楽しさを味わい、豊かな感性を培うこと」「人と関わり、つながることに意欲をもつこと」をねらいとしました。



9月10日に初めて会った幼稚園・保育園の年長・小学校の1年生の子ども達は、最初は言葉少なく、お互いの様子を伺うような素振りを見せていましたが、紙皿に色をつけたり、スズランテープを貼ったりする活動が進むにつれて、「これはね、こうやってくっつけるんだよ。」「いっしょに、先生に聞きに行こうね。」などの言葉を交わし、手助けをし合い、終わる頃には手をつなぎ、肩を組んで笑う姿が見られました。9月17日には、一同に体育館に集まり、初めに長いスズランテープを縛る協働作業に取り組みました。1年生が幼稚園・保育園の友だちに教え、手伝う姿がたくさん見られ、前回よりも親密度が増した感がありました。そして、スズランテープの海を10日に作った「紙皿クラゲ」をもって、杉田劇場館長 中村 牧さんのピアノ伴奏に合わせて、手を繋いだり、おいかけてっこしたりしながら、楽しく泳ぎ回りました。2回の活動ですっかり表情が和らぎ、声かけや会話がよく聞かれるようになりました。「つながる」ことを楽しんでいる雰囲気が伝わりました。

私にも楽しい思い出があります。小学校2年生の頃、学級に黒沢さんという男の子がいました。黒沢さんの家は、私が買い物へ行く時に通る道沿いにありました。買い物へ行く時に、手と手を顔の前でにぎり、笑顔でぴょんぴょん跳ねている黒沢さんによく出会いました。私は黒沢さんが学級にいてもまったく話をしませんでした。話すきっかけや、話す必要がなかったのです。6月頃、黒沢さんと座席が隣になりました。初めは黒沢さんの様子を見ているだけでしたが、徐々に一言二言話しかけたり、三角牛乳にストローを挿すのを手伝ったりするように記憶しています。そして手と手を顔の前でにぎって笑うことが黒沢さんの返事だと受け止めました。それから私は「クロちゃん」と呼ぶようになり、買い物途中で姿を見かけると大声で「クロちゃん。」と呼んで手を振りました。クロちゃんは、私の方に体を向けて、手と手を顔の前でにぎって笑っている。クロちゃんと「つながっている」と感じられて、とてもうれしかったことを思い出します。今でもお母さんと年賀状でつながっています。

よりよい社会をつくるという目標を社会と学校が共有し、連携・協働しながら、未来の創り手となる子ども達に必要な資質・能力を育む教育が

求められていますが、そのひとつは「人と関わり、つながることを楽しみ、つながることに意欲をもつ」という資質・能力を培うことだと実感します。「いっしょにつくったのが たのしかった。」「また あえたらいいなと おもいました。」「人と関わり、つながる」場と活動を、これからも計画し、実践していきます。

